

感染症発生動向調査 病原体検出状況

栃木県保健環境センター及び宇都宮市衛生環境試験所では、感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、県内の医療機関において患者から採取された検査材料について、病原体の検出を行っています。

2024年1月から12月の病原体検出状況について、次のとおり報告します。

※本報告では、確定診断に至っていない疑い症例も含んでいます。

1 栃木県保健環境センターにおける病原体検査実施状況について

(1) 搬入状況

月別検体搬入状況を表 1-1 に示しました。

検体数は 273 件で、内訳は、全数把握疾病が 174 件 (63.7%)、病原体定点対象疾病が 93 件 (34.1%)、その他が 6 件 (2.2%) でした。全数把握疾病 174 件のうち、三類感染症が 40 件、四類感染症が 21 件、五類感染症が 113 件となっています。

疾病別の内訳は、腸管出血性大腸菌（以下「EHEC」）感染症が 39 件 (14.3%)、手足口病が 31 件 (11.4%)、インフルエンザが 31 件 (11.4%)、急性脳炎が 23 件 (8.4%) 搬入されました。また、その他細菌性赤痢、A 型肝炎、E 型肝炎、つつが虫病、デング熱、レジオネラ症、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、ウイルス性肝炎、急性弛緩性麻痺、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘、風しん、麻しんなど多様な疾病の検体が搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-1 に、疾病別病原体検出状況を表 3-1 に示しました。

ア 全数把握疾病

- EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC が 39 株 (O157 : 24 株、O103 : 4 株、O55 : 1 株、O111 : 1 株、O115 : 1 株、O121 : 1 株、O165 : 1 株、O 型別不能 : 6 株) 検出されました。
- E 型肝炎患者由来検体からは、E 型肝炎ウイルス遺伝子型 4 が 1 件検出されました。
- デング熱患者由来検体からは、デングウイルス 2 が 2 件検出されました。
- レジオネラ症患者由来検体からは、*Legionella pneumophila* 血清群 1 が 5 株検出されました。
- CRE 感染症患者由来検体からは、カルバペネマーゼ非産生株が 14 株、カルバペネマーゼ産生株が 2 株検出されました。

- ・急性弛緩性麻痺患者由来検体からは、コクサッキーウイルス B 群型別不明が 2 件検出されました。
- ・急性脳炎患者由来検体からは、コクサッキーウイルス B 群 5 型が 1 件、エンテロウイルス A71 が 1 件、ヒトライノウイルス遺伝子群 A が 1 件、*Mycoplasma pneumoniae* が 1 件、インフルエンザウイルス AH3 亜型が 1 件検出されました。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者検体からは、A 群溶血性レンサ球菌 T1 型・G 群溶血性レンサ球菌が 4 株、B 群溶血性レンサ球菌 I b 型・A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不能が 2 株検出されました。
- ・侵襲性インフルエンザ菌感染症患者由来検体からは、インフルエンザ菌莢膜型別不能が 4 株、インフルエンザ菌 e 型が 2 株検出されました。
- ・侵襲性髄膜炎菌感染症患者由来検体からは、髄膜炎菌血清群 W が 1 株検出されました。
- ・侵襲性肺炎球菌感染症患者由来検体からは、肺炎球菌血清型 3 が 3 株、肺炎球菌血清型 22F・肺炎球菌血清型 24B・肺炎球菌血清型 33F・肺炎球菌血清型 34 が 2 株、肺炎球菌血清型 7C・肺炎球菌血清型 11A/E・肺炎球菌血清型 15B・肺炎球菌血清型 15C・肺炎球菌血清型 19A・肺炎球菌血清型 23A が 1 株検出されました。
- ・麻しん疑い患者由来検体からは、パルボウイルス B19 が 4 件、ヒトヘルペスウイルス 6 が 1 件検出されました。

イ 定点把握疾病

- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者由来検体からは、A 群溶血性レンサ球菌 T1 型が 1 株検出されました。
- ・RS ウイルス感染症患者由来検体からは、RS ウイルス A が 2 件、エンテロウイルス D68 が 1 件検出されました。
- ・マイコプラズマ感染症患者由来検体からは、*Mycoplasma pneumoniae* が 2 株検出されました。
- ・咽頭結膜熱患者由来検体からは、アデノウイルス 3 型が 2 件、パラインフルエンザウイルス 3 が 1 件検出されました。
- ・細菌性髄膜炎患者由来検体からは、肺炎球菌血清型 34 が 2 株検出されました。
- ・手足口病患者由来検体からは、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 23 件、コクサッキーウイルス A 群 16 型が 5 件、ヒトライノウイルス遺伝子群 C が 1 件検出されました。
- ・ヘルパンギーナ患者由来検体からは、コクサッキーウイルス A 群 6 型が 4 件、パレコウイルス 1 が 1 件検出されました。
- ・インフルエンザ患者由来検体からは、インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型が 12 件、インフルエンザウイルス AH3 亜型が 6 件、インフルエンザウイルス B ビクトリア系統が 12 件検出されました。

2 宇都宮市衛生環境試験所における病原体検査実施状況について

(1) 検査状況

月別疾患別検査状況を表 1-2 に示しました。本報告では、確定診断に至っていない疑い病名についても、確定診断名に含めて分類しました。

検体数は 80 件でした。内訳は、全数把握疾患が 54 件（二類：1 件、三類：19 件、四類：4 件、五類：30 件）、病原体定点対象疾患が 24 件、疑似症が 2 件でした。搬入検体の疾患別の内訳は、インフルエンザが 24 件（30.0%）と最も多い状況でした。次いで、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症が 17 件（21.3%）、腸管出血性大腸菌感染症が 15 件（18.8%）搬入されました。また、その他、重症急性呼吸器症候群（SARS）、コレラ、ライム病、レジオネラ症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、風しん、疑似症が搬入されました。

(2) 検査方法等

国立感染症研究所の病原体検出マニュアル及び厚生労働省通知の方法などを参考に検査を実施しました。

(3) 結果

月別病原体検出状況を表 2-2 に示しました。また、疾患別病原体検出状況を表 3-2 に示しました。

ア 全数把握疾患

- ・ コレラ由来検体からは、*Vibrio cholerae* O8 が検出されました。
- ・ EHEC 感染症患者由来検体からは、EHEC 15 株（O157：8 株、OUT：1 株、O26：5 株、O121：1 株）が検出されました。
- ・ レジオネラ症患者由来検体からは、*Legionella pneumophila* 血清群 1 が 1 株、*Legionella pneumophila* 血清群 2 が 1 株検出されました。
- ・ CRE 感染症患者由来検体からは、*Enterobacter cloacae* が 1 株検出され、IMP 型 Metallo- β -lactamase 産生株でした。また、*Klebsiella aerogenes* が 11 株、*Enterobacter cloacae* が 4 株 *Escherichia coli* が 1 株、検出されましたが主要なカルバペネマーゼ遺伝子（IMP 型、NDM 型、KPC 型及び OXA-48 型）は検出されませんでした。
- ・ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者検体からは、A 群溶血性レンサ球菌 T1 型が 6 株、A 群溶血性レンサ球菌 T13 型が 1 株検出されました。
- ・ 侵襲性髄膜炎菌感染症由来検体からは、髄膜炎菌血清群 Y が 1 株検出されました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症由来検体からは、肺炎球菌血清型 35F が 2 株検出されました。

イ 定点把握疾患

- ・ インフルエンザ患者由来検体からは、インフルエンザウイルス 23 件が検出されました。内訳は、インフルエンザウイルス A 型（型別不明）が 1 件、インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型が 12 件、インフルエンザウイルス AH3 亜型が 1 件、インフルエンザウイルス B 型（ビクトリア系統）が 9 件検出されました。